

第8章 むつ市・おいらせ町の未婚率 および独身者の恋愛行動と結婚観

木村絵里子（日本女子大学）

8-1. はじめに

本章では、トランスローカリティ研究会による青森県のむつ市とおいらせ町を対象にした調査（以下、「青森調査」と表記）のデータから、未婚率（f2）と、独身者の恋愛行動（f4）、結婚観（f3、q12f・g）、人間関係満足度（q12b・c・d）について検討する。

日本社会の結婚形成過程は、とりわけ1970年代半ば以降に大きく変化し、未婚化・晩婚化現象がみられるようになった。その要因としては、女性の高学歴化による就業機会の拡大や経済的状況の変容による男性の非正規雇用者の増加などが指摘されてきたが、近年では、地域人口の減少や高齢化に伴い、地域差に焦点をあてた研究が散見されるようになってきている。たとえば工藤（2011）によると、未婚化・晩婚化は、全国一律に起きているのではなく、地域的な差異を伴いながら進展しており、とくに結婚適齢期の男性未婚率は東日本で高く、一方女性の未婚率は西日本で高くなっているという。また、南（2017）も、北陸地方で確認されていた早婚傾向が、2010年頃に段階的に解消されつつあることを指摘している。

ただし、未婚率に関して同一県内における地域差を比較している研究は、ほとんどない。本研究会による青森調査では、調査対象地であるむつ市を「条件不利地域圏」、おいらせ町を「地方中枢拠点都市圏」として位置づけており（定義については第11章を参照）、両地域における独身者の傾向について比較・検討することが可能となっている。

8-2. 国勢調査における青森県の未婚率

本節では、青森調査データの分析に入る前に、青森県の未婚率に関連するマクロデータを確認しておきたい。図1・2には、国勢調査における生涯未婚率（50歳時の未婚割合²⁵）の推移（1990～2015年）を、性別ごとに、青森県、東京都、全国別の割合を示した（国立社会保障・人口問題研究所 2018）。なお東京都を載せたのは、都市部との比較のためである。2015年時点の生涯未婚率は、男性では、全国23.4%、青森県25.0%、東京都26.1%、女性では全国14.1%、青森県13.9%、東京都19.2%である。1990年代以降、男女ともに生涯未婚率が上昇しているが、女性に関しては男性ほど急上昇しているわけではない。また、男性の割合は2000年までは全国よりも青森県の割合が下回っていたが、2005年以降は、全国よりも高い割合となっており、2015年には全国で2番目に高い東京都の割合に近づいている（全国で最も高いのは沖縄県の26.2%）。青森県の女性の生涯未婚率は、一貫して全国や東京都よりも低い（2015年時の女性の生涯未婚率で最も高いのは東京都）。以上の生涯未婚率の推移から、全国的に非婚化が進行していることがうかがえ、とくに青森県の男性の生涯未婚率の上昇幅が大きいことがわかる。

²⁵ 生涯未婚率とは、45～49歳と50～54歳の未婚率（配偶関係不詳を除く人口を分母とする）の平均値を取り、50歳の時点で結婚したことがない人の割合としたものである。

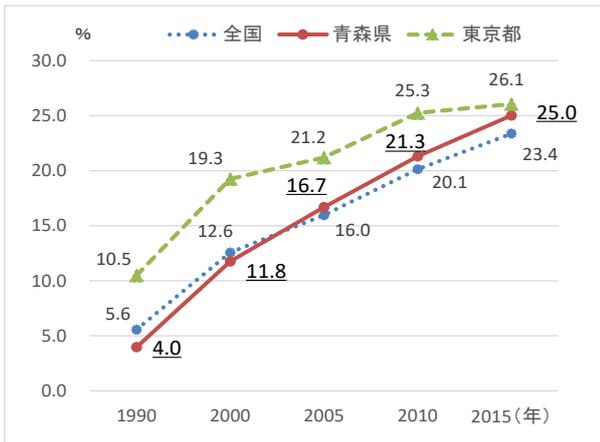


図 1. 男性 生涯未婚率

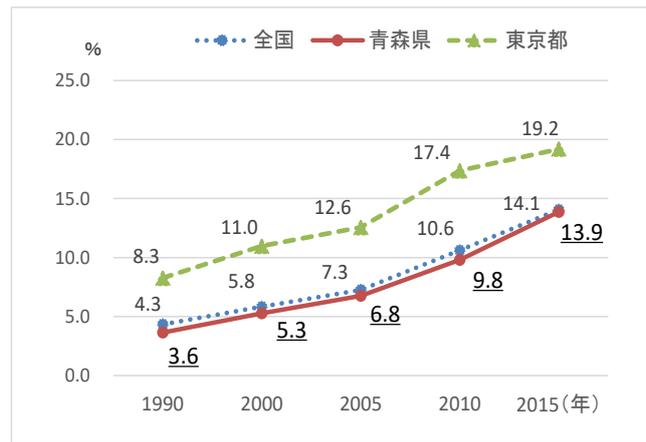


図 2. 女性 生涯未婚率

国立社会保障・人口問題研究所 (2018) より作成

図 3・4には、国勢調査による平均初婚年齢の推移(1990～2015年)を、性別ごとに、青森県、東京都、全国別に示した(国立社会保障・人口問題研究所 2018)。2015年時点の平均初婚年齢は、男性では全国31.1歳、青森県30.5歳、東京都32.3歳、女性では全国29.4歳、青森県29.0歳、東京都30.5歳である。平均初婚年齢は、全国的に年々上昇しており、晩婚化の傾向がみられる。ただし、青森県の初婚年齢は、男女ともに全国および東京都の平均を下回っている

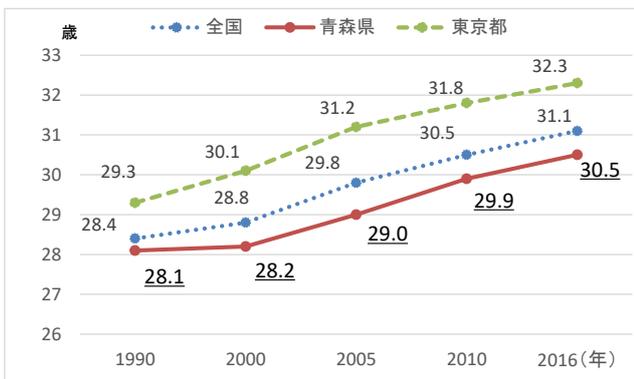


図 3. 男性 平均初婚年齢

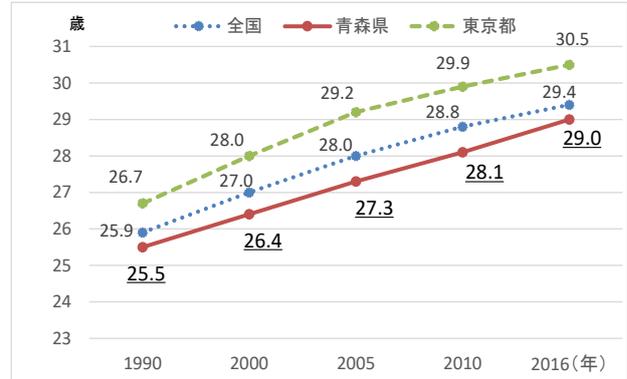


図 4. 女性 平均初婚年齢

国立社会保障・人口問題研究所 (2018) より作成

次に、地域別の未婚率を確認する。表 1には、平均初婚年齢に近い男性「30～34歳」、女性「25～29歳」の年齢層における国勢調査の未婚率の推移(1970～2015年)を青森県、東京都、全国別に示した。2015年時における男性の30～34歳における未婚率は、全国47.1%、青森県49.7%、東京都50.3%、女性の25～29歳における未婚率は、全国61.3%、青森県58.0%、東京都68.3%である。未婚率は、男女ともに上昇傾向にあるが、全国と青森県に関しては、2010年から2015年にかけておおむね横ばいの状態である。青森県の男性(30～34歳)の未婚率は、2000年までは全国平均を下回っていたが、2010年以降、若干ではあるものの全国を上回っており、全国のなかで最も高い東京都の割合に近づいている。青森県の女性(25～29歳)の未婚率は、総じて全国平均を下回り、男性に比べると東京都との差が大きい。

表 1. 地域別、性別の未婚率の推移 (%)

都道府県	男 性 30～34歳					女 性 25～29歳				
	1970年	1990年	2000年	2010年	2015年	1970年	1990年	2000年	2010年	2015年
全国	11.7	32.8	42.9	47.3	47.1	18.1	40.4	54.0	60.3	61.3
青森	7.0	30.8	40.3	47.7	49.7	12.8	35.4	48.9	56.3	58.0
東京	20.5	44.4	54.2	54.3	50.3	27.9	53.8	65.3	69.5	68.3

国立社会保障・人口問題研究所 (2018) より作成

8-3. むつ市とおいらせ町の未婚率

(1) 青森調査と国勢調査の比較

次に、青森調査 (2018 年) の対象地である青森県のむつ市とおいらせ町の婚姻状況を確認した上で、国勢調査 (2015 年) のデータと照らし合わせて検討したい。

表 2. むつ市とおいらせ町の婚姻状況 (青森調査)

配偶関係	むつ市		おいらせ町		全体	
	度数	有効%	度数	有効%	度数	有効%
結婚している	133	40.4	121	36.9	254	38.7
離婚・死別した	22	6.7	21	6.4	43	6.5
結婚したことはない	174	52.9	186	56.7	360	54.8
合計	329	100.0	328	100.0	657	100.0

まず、表 2 に青森調査の婚姻状況 (f2: あなたは結婚されていますか) を示した。「結婚している」と回答した割合は、むつ市 40.4%、おいらせ町 36.9%、むつ市とおいらせ町を合わせた全体では 38.7%、「離別・死別した」は、むつ市 6.7%、おいらせ町 6.4%、全体 6.7%、「結婚したことはない」はむつ市 52.9%、おいらせ町 56.7%、全体 54.8%であった (性別ごとの割合は、第 9 章を参照)。婚姻状況においては、むつ市とおいらせ町間に大きな差はみられなかった (χ^2 検定の結果、非有意であった)。なお、轡田 (2015) による広島調査の未婚率は、条件不利地域圏である三好町では 38.8%、地方中枢拠点都市圏の府中町では 35.8%であり²⁶、単純に比較することはできないものの、青森調査の未婚率がかなり高いことがわかる。

²⁶ 広島調査のデータ (轡田 2015) および「配偶者」のなかに「事実婚」や「婚約者」も含んでいる。また、本報告書第 11 章も同様。

表3. むつ市・おいらせ町 男性 未婚率 (%)

男性		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	20代	30代	20・30代
青森調査むつ市 (2018年)	未婚率	93.3	62.2	44.4	35.0	74.7	40.0	56.7
	N	30	45	45	40	75	85	171
国勢調査むつ市 (2015年)	未婚率	89.1	69.5	45.1	35.2	78.2	39.8	55.7
	N	1065	1353	1580	1842	2418	3422	5840
青森調査おいらせ町 (2018年)	未婚率	89.5	81.1	65.5	25.9	83.9	39.8	58.6
	N	19	37	29	54	56	83	145
国勢調査おいらせ町 (2015年)	未婚率	90.4	66.1	43.6	35.0	77.2	38.9	54.2
	N	425	505	645	755	930	1400	2330

国勢調査データは総務省統計局（2017）より作成（以下表4も同じ）

表4. むつ市・おいらせ町 女性 未婚率 (%)

女性		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	20代	30代	20・30代
青森調査むつ市 (2018年)	未婚率	90.6	63.6	50.0	34.8	79.6	40.8	56.6
	N	32	22	30	46	54	76	136
国勢調査むつ市 (2015年)	未婚率	79.6	48.2	28.2	20.0	61.3	23.6	37.6
	N	804	1113	1435	1809	1917	3244	5161
青森調査おいらせ町 (2018年)	未婚率	97.1	87.5	65.5	22.2	91.9	37.3	62.3
	N	34	40	29	54	74	83	101
国勢調査おいらせ町 (2015年)	未婚率	82.0	52.6	27.0	16.9	65.6	21.7	39.2
	N	416	525	667	750	941	1417	2358

次に、青森調査データ（2018年）と、国勢調査データ（2015年）の未婚率を確認していく。表3には、上段にむつ市、下段においらせ町の男性の年齢層ごとの未婚率を示した。この表にあるように、青森調査のむつ市の男性未婚率は、20代で74.7%、30代で40.0%であり、おいらせ町の男性の未婚率は、20代で83.9%、30代で39.8%である。なお、20代、30代ともに統計的に有意な地域差は確認されなかった（ χ^2 検定）。この青森調査の全ての年齢層における男性未婚率は、国勢調査データよりも高くなっているものの、それほど大きな違いではない。ただし、年齢層をより細かく分けていくと、おいらせ町の25～29歳で14.9ポイント、30～34歳で22ポイントの差が確認された。

表4には、むつ市とおいらせ町の女性未婚率を示した。青森調査のむつ市の女性未婚率は、20代で79.6%、30代で40.8%、おいらせ町の女性未婚率は、20代で91.9%、30代で37.3%であった。表は省略するが、20代のみ、5%水準で有意な地域差が確認された（ χ^2 検定）。ただし、青森調査のデータは、国勢調査データとの差が大きくなっており、むつ市女性の30～34歳では約21ポイント、おいらせ町女性のとくに、25～29歳で34.9ポイント、30～34歳では38.5ポイントもの差がある。以上のように、青森調査の未婚率では、とくに女性の割合において国勢調査データとの比較的大きなずれが確認された。これらの差はかなり大きいことから、両調査の実施年次の違いによるものとは考え難い。青森調査データでは、何らかの理由によって未婚者の回答割合が高くなっているものと考えられる。

(2) 属性と婚姻状況との関連

上記の国勢調査と青森調査の未婚率のずれに留意しつつ、基本属性と婚姻状況の関連について確認したい。表5は、むつ市の婚姻状況と性別、年齢層、学歴、雇用形態、移動歴（居住歴）のクロス表である。表にあるように、年齢層で0.1%水準、移動歴で10%水準の有意差が確認された。とくに年齢層との関連が強く、20代の未婚率は、76.7%、30代の未婚率は40.4%になっている。移動歴では、他の地域で暮らしたことがない、ずっと地元にいる層の未婚率が67.1%と最も高く、Uターン層が55.7%、Iターン（転入）層が48.3%となっている。

表5. むつ市 基本属性と婚姻状況のクロス表 (%)

むつ市		未婚	既婚	N	χ^2 検定 (P)	Cramer'V
性別	男性	56.7	43.3	171	0.985	0.001
	女性	56.6	43.4	136		
年齢層	20代	76.7	23.3	129	0.000	0.365
	30代	40.4	59.6	161		
学歴	中・高・専門卒	56.3	43.7	190	0.589	0.032
	短大・大学・ 大学院卒	53.0	47.0	100		
雇用 形態	正規雇用	53.6	46.4	194	0.117	0.103
	非正規雇用	67.6	32.4	37		
移動歴	ずっと地元	67.1	32.9	73	0.056	0.141
	Uターン	55.7	44.3	131		
	Iターン	48.3	51.7	87		

表6は、おいらせ町の婚姻状況と性別、年齢層、学歴、雇用形態、移動歴（居住歴）のクロス表である。おいらせ町では、年齢層と移動歴で0.1%水準、雇用形態で1%水準の有意差がみられた。やはり年齢層との関連が最も強く、20代の未婚率は88.5%、30代は38.6%である。移動歴では、先のむつ市と同様にずっと地元の層の未婚率が78.9%と最も高く、Uターン層では76.0%、Iターン層では31.6%である。雇用形態別では、非正規雇用者の未婚率が82.1%と高くなっている。

むつ市とおいらせ町の両地域ともに、ずっと地元に住んでいる者の未婚率が高く、Iターン層の未婚率が低くなっている。とくにおいらせ町のIターン層の既婚率が高いのは、第2章で詳述されているように、結婚や住み替えを契機に転入する層が多くみられることと関連していると推察される。

表6. おいらせ町 基本属性と婚姻状況のクロス表 (%)

おいらせ町		未婚	既婚	N	χ^2 検定 (P)	Cramer'V
性別	男性	58.6	41.4	145	0.505	0.038
	女性	62.3	37.7	162		
年齢層	20代	88.5	11.5	130	0.000	0.507
	30代	38.6	61.4	166		
学歴	中・高・専門卒	57.5	42.5	186	0.329	0.058
	短大・大学・ 大学院卒	63.5	36.5	96		
雇用 形態	正規雇用	59.9	40.1	202	0.009	0.169
	非正規雇用	82.1	17.9	39		
移動歴	ずっと地元	78.9	21.1	76	0.000	0.455
	Uターン	76.0	24.0	100		
	Iターン	31.6	68.4	114		

8-4. 独身者の恋愛行動

次に、青森調査データにおける独身者²⁷の恋愛行動（f4：あなたには、現在、恋愛交際相手がありますか）について、確認する（表7）。むつ市では、「恋人がいる」（以下「恋人あり」と表記）24.3%、「今はいないが恋愛交際をしたことがある」（以下「恋人なし・恋愛経験あり」と表記）41.0%、「恋愛交際をしたことがない」（以下「恋愛経験なし」と表記）34.7%、おいらせ町では、「恋人あり」29.5%、「恋人なし・恋愛経験あり」44.3%、「恋愛経験なし」26.2%となっている。恋愛行動において、むつ市とおいらせ町で統計的に有意な差は確認されなかった。

表8は、むつ市の恋愛行動と、性別、年齢層、学歴、雇用形態、移動歴（居住歴）のクロス表（独身者のみ）である。移動歴で1%水準、性別で5%水準の有意差が確認された。

表7. むつ市とおいらせ町の恋愛行動（独身者のみ、%）

	恋人あり	恋人なし・ 恋愛経験あり	恋愛経験 なし	N	χ^2 検定
むつ市	24.3	41.0	34.7	173	n.s.
おいらせ町	29.5	44.3	26.2	183	
全体	27.0	42.7	30.3	356	

²⁷ 本章では、f2で「結婚したことはない」と回答した者（初婚の未婚者）のみを「独身者」とし、「離婚・死別した」は含んでいない。

表 8. むつ市 基本属性と恋愛行動のクロス表 (%)

むつ市		恋人あり	恋人なし・ 恋愛経験あり	恋愛経験 なし	N	χ^2 検定 (P)	Cramer'V
性別	男性	16.5	46.4	37.1	97	0.024	0.207
	女性	34.2	34.2	31.6	76		
年齢層	20代	28.6	32.7	38.8	98	0.101	0.168
	30代	20.0	49.2	30.8	65		
学歴	中・高・専門卒	24.3	36.4	39.3	107	0.051	0.194
	短大・大学・ 大学院卒	25.0	53.8	21.2	52		
雇用 形態	正規雇用	29.1	43.7	27.2	103	0.054	0.214
	非正規雇用	16.0	32.0	52.0	25		
移動歴	ずっと地元	24.5	22.4	53.1	49	0.006	0.212
	Uターン	20.5	47.9	31.5	73		
	Iターン	31.7	48.8	19.5	41		

表 9. おいらせ町 基本属性と恋愛行動のクロス表 (%)

おいらせ町		恋人あり	恋人なし・ 恋愛経験あり	恋愛経験 なし	N	χ^2 検定 (P)	Cramer'V
性別	男性	17.6	50.6	31.8	85	0.004	0.244
	女性	39.8	38.8	21.4	98		
年齢層	20代	30.4	37.4	32.2	115	0.025	0.204
	30代	27.4	56.5	16.1	62		
学歴	中・高・専門卒	26.7	45.7	27.6	105	0.499	0.092
	短大・大学・ 大学院卒	35.0	38.3	26.7	60		
雇用 形態	正規雇用	34.5	43.7	21.8	119	0.325	0.122
	非正規雇用	21.9	46.9	31.3	32		
移動歴	ずっと地元	29.7	40.4	29.8	57	0.765	0.070
	Uターン	30.3	42.1	27.6	76		
	Iターン	25.0	52.8	22.2	36		

移動歴に関しては、Iターン層の「恋人あり」(31.7%)と「恋人なし・恋愛経験あり」(48.8%)の割合が最も高い。一方、ずっと地元層の「恋人あり」は、24.5%と先のIターン層に次ぐ割合であるものの、半数以上(53.1%)が「恋愛経験なし」となっている。むつ市では、先の婚姻状況においても移動歴との関連があり、ずっと地元層の未婚率が高くなっていたが、それは恋愛経験のない層が多くみられることが影響していると推察される。第1章で、むつ市において「リラックスして付き合える関係の友人が多くいる」の肯定回答率が、ずっと地元層よりもUターン層のほうが高くなっていたように、条件不利地域のむつ市では、移動歴のある者のほうが、友人数が多く、また恋愛経験を持つ者が多い傾向にあるようだ。轡田(2017)によれば、地元以外の地域で暮らした経験のある者のほうが人間関係の広がりやネットワークや移動経験者の前住地などを分析していくことが課題となる。

一方、性別については、「恋人あり」が男性 16.5%、女性 34.2%と、男性で恋人のいる割合がかなり低い。また、学歴、雇用形態では 10%水準の有意差がみられ、短大・大学・大学院卒、そして正規雇用のほうがのほうが、恋愛経験率（「恋人あり」＋「恋人なし・恋愛経験あり」）が高くなっている。

表 9 は、おいらせ町の恋愛行動と、性別、年齢層、学歴、雇用形態、移動歴とのクロス表である（独身者のみ）。性別において 1%水準、年齢層において 5%水準の有意差が確認された。「恋人あり」の男性は 17.6%、女性は 39.8%で、女性の方が恋人のいる割合が高く、以下の年齢層よりも性別との関連が強い。20代と 30代の「恋人あり」の割合にはほとんど差がないものの、「恋人なし・恋愛経験あり」では 30代が 20代より 19.1ポイント高く、「恋愛経験なし」では、20代が 16.1ポイント高くなっている。女性の方が恋人のいる割合が高く、また年齢が高くなるにつれて恋愛経験が増えていくのは、都市部でもみられる傾向である（木村 2016）²⁸。また、おいらせ町では、先のむつ市では関連がみられた学歴、雇用形態、移動歴の有意差は確認されなかった。

8-5. 独身者の結婚観

次に、独身者の結婚観について検討する。まずむつ市とおいらせ町における結婚観 1（f3：あなたは結婚について、どのようにお考えですか）について、表 10 に示した。むつ市では、「理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない」（49.1%）が最も多く、次に「ある程度の年齢までに結婚するつもり」（40.5%）、「一生結婚するつもりがない」（10.4%）が続く。一方、おいらせ町では、「ある程度の年齢までに結婚するつもり」（46.5%）が最も多く、「理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない」は 43.8%、「一生結婚するつもりがない」は 9.7%となっている。ただし、むつ市、おいらせ町において統計的に有意な差はみられず、ともに「一生結婚するつもりはない」は、約 1割とごく少数であり、「理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない」派と、「ある程度の年齢までに結婚するつもり」派に分かれている。

次に、この結婚観 1 と性別、年齢層、恋愛行動、移動歴との関連について確認する。表 11 は、むつ市のクロス表である。表にあるように、恋愛行動で 0.1%水準、移動歴で 5%水準、年齢層で 10%水準の有意差がみられ、恋愛行動との関連が最も強くなっている。現在恋人のいる者の約 7割が「ある程度の年齢までに結婚するつもり」であり、「恋人なし・経験あり」と「恋愛経験なし」では、「理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない」が 5割強となっている。また、「恋愛経験なし」の 18.6%が「一生結婚するつもりはない」と回答しており、他に比べて高い。移動歴別にみると、1ターン層は「ある程度の年齢までに結婚するつもり」（52.4%）、Uターン層は「理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない」（57.6%）、ずっと地元の層は「ある程度の年齢までに結婚するつもり」と「理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない」が 39.6%であるが、「一生結婚するつもりはない」は 20.8%となっている。むつ市では、先の婚姻状況と恋愛行動と同じように、こうした結婚観 1 にも移動歴が影響を与えていることがわかる。

²⁸地域別、かつ 20 代の前半と後半の層に分けてみると、むつ市の 20 代前半では、恋人あり 30.4%、恋人なし・恋愛経験あり 25.0%、恋愛経験なし 44.6%、20 代後半では、同 26.2%、42.9%、31.0%、おいらせ町の 20 代前半では、恋人あり 32.0%、恋人なし・経験あり 32.0%、恋愛経験なし 36.0%、20 代後半では、同 29.2%、41.5%、29.2%となる。参考までに青少年研究会の調査による都市部（東京都杉並区・神戸市灘区・東灘区）の恋愛行動（2012 年）を示しておく。20 代前半で恋人あり 41.2%、恋人なし・恋愛経験なし 32.0%、恋愛経験なし 26.8%、20 代後半で同 48.5%、39.0%、12.5%であった（木村 2016）。大まかな傾向として都市部のほうが、恋愛未経験率が低いといえるだろう。

表 10. むつ市とおいらせ町の結婚観 1 (%)

	ある程度の年齢までに結婚するつもり	理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない	一生結婚するつもりはない	N	χ^2 検定
むつ市	40.5	49.1	10.4	173	n.s.
おいらせ町	46.5	43.8	9.7	185	
全体	43.6	46.4	10.1	358	

表 11. むつ市 性別、年齢層、恋愛行動、移動歴と結婚観 1 のクロス表 (%)

むつ市		ある程度の年齢までに結婚するつもり	理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない	一生結婚するつもりはない	N	χ^2 検定 (P)	Cramer V
性別	男性	39.2	53.6	7.2	97	0.207	0.135
	女性	42.1	43.4	14.5	76		
年齢層	20代	47.5	43.4	9.1	99	0.078	0.177
	30代	29.7	57.8	12.5	64		
恋愛行動	恋人あり	69.0	26.2	4.8	42	0.000	0.266
	恋人なし・恋愛経験あり	38.0	54.9	7.0	71		
	恋愛経験なし	23.7	57.6	18.6	59		
移動歴	ずっと地元	39.6	39.6	20.8	48	0.031	0.181
	Uターン	34.2	57.5	8.2	73		
	Iターン	52.4	42.9	4.8	42		

表 12. おいらせ町 性別、年齢層、恋愛行動、移動歴と結婚観 1 のクロス表 (%)

おいらせ町		ある程度の年齢までに結婚するつもり	理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない	一生結婚するつもりはない	N	χ^2 検定 (P)	Cramer V
性別	男性	40.0	50.6	9.4	85	0.212	0.129
	女性	52.0	38.0	10.0	100		
年齢層	20代	50.4	40.0	9.6	115	0.351	0.108
	30代	39.7	50.8	9.5	63		
恋愛行動	恋人あり	75.9	24.1	0.0	54	0.000	0.324
	恋人なし・恋愛経験あり	40.7	51.9	7.4	81		
	恋愛経験なし	22.9	54.2	22.9	48		
移動歴	ずっと地元	45.8	44.1	10.2	59	0.403	0.108
	Uターン	43.4	47.4	9.2	76		
	Iターン	47.4	27.8	13.9	36		

表 12 は、おいらせ町の結婚観 1 と、性別、年齢層、恋愛行動、移動歴とのクロス表である。おいらせ町では、恋愛行動のみに 0.1%水準の有意差が確認された。現在恋人のいる者の 7 割強が「ある程度の年齢までに結婚するつもり」と回答しており、「恋人なし・経験あり」と「恋愛経験なし」では、「理想の結婚相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない」が 5 割程度となっている。「一生結婚するつもりはない」という回答は、現在恋人のいる者にはみられないが、「恋愛経験なし」では 22.4%となっている。

次に、結婚観 2 と家族形成に関する将来展望の地域差についても簡単に確認しておこう（表 13）。結婚観 2 とは、「あなたは、ご自身と親しい人との関係について、どのように感じていますか」と尋ねた q12 の f:「今後、（配偶者がいない場合）結婚できないのではないかとか、（既婚の場合）結婚生活を続けられないのではないかと、心配しなくていいと思う²⁹」、家族形成に関する将来展望とは、同じ q12 の g:「20 年後、子育てを経験し、自分を大切に思ってくれる人（配偶者・恋人等）と暮らしていると思う」であり、本章では独身者のみの回答を取り出している。両項目ともに、むつ市とおいらせ町に統計的な差はみられなかった。結婚観 2 の「結婚できないのではないかと心配」という心配のいない者（肯定回答率）は、むつ市では 32.9%、おいらせ町では 40.4%に過ぎず、将来の結婚に悲観的な者が半数以上を占めている。将来展望の「20 年後、子育てを経験し、大切に思ってくれる人（配偶者・恋人等）と暮らしていると思う」の肯定回答率は、むつ市 49.4%、おいらせ町 54.1%であり、先の結婚観 2 に比べるとやや高くなっているものの、半数程度である。先の 2 節で確認したように青森県では未婚化が進行しているが、独身者の結婚や家族形成に関する意識も、明るいものではないようだ。

表 13. むつ市とおいらせ町における結婚観 2・将来展望（独身者のみ、%）

		むつ市	おいらせ町	全体	χ^2 検定
今後、結婚できないのではないかと心配しなくていい（結婚観 2）	そう思う	32.9	40.4	36.8	n.s.
	そう思わない	67.1	59.6	63.2	
N		170	183	353	
20年後、子育てを経験し、自分を必要とし大切に思ってくれる人（配偶者・恋人等）と暮らしていると思う（将来展望）	そう思う	49.4	54.1	51.8	n.s.
	そう思わない	50.6	45.9	48.2	
N		172	183	355	

8-6. 独身者の人間関係満足度

本節では、独身者の人間関係に対する満足度と地域差の関連について確認する。人間関係の満足度としては、q12d:「友人関係に満足している」、q12c:「血縁以外に自分を必要とし大切に思ってくれる人（配偶者・恋人等）がいて、その関係に満足している」、q12b:「親との関係に満足している」をみていく。なお、本節でも独身者のみを分析対象としている。表 14 には、むつ市、おいらせ町ごとに、友人、恋人、親との関係の満足度との関連を示した。これら人間関係の満足度では、むつ市とおいらせ町に有意な差はみられなかった。両地域ともに「親との関係」では約 8 割、「友人関係」では、7 割弱から 7 割強の肯定回答率となっており、満足度が高い。一方、「血縁以外に自分を必要とし大切に思ってくれる人（恋人等）」との関係に対する満足度は、むつ市 36.7%、おいらせ町 42.5%と、先の親や友人関係の満足度に比べると低くなっている。ただ、先の表 7 で確認したように、恋人がいる割合は、むつ市 24.3%、

²⁹ q12f は、二重否定を含んでおり、質問内容が分かりづらくなっているため、今後の調査では改善を要する。

おいらせ町 29.5%となっていたことから、この満足度も当然の結果として捉えることができる。また、既婚者における配偶者などの「血縁以外に自分を必要とし大切に思ってくれる人」に対する満足度は、むつ市では 88.0%、おいらせ町では 88.3%、全体 88.1%と非常に高くなっている（ χ^2 検定は非有意）。

表 14. むつ市とおいらせ町における人間関係満足度（独身者のみ、%）

		むつ市	おいらせ町	全体	χ^2 検定
友人関係に満足している	そう思う	73.8	77.0	75.5	n.s.
	そう思わない	26.2	23.0	24.5	
N		172	183	355	
自分を必要とし大切に思ってくれる人（恋人等）がいて、その関係に満足している	そう思う	36.7	42.5	39.7	n.s.
	そう思わない	63.3	57.5	60.3	
N		169	181	350	
親との関係に満足している	そう思う	77.9	80.9	79.4	n.s.
	そう思わない	22.1	19.1	20.6	
N		172	183	355	

8-7. おわりに

本章では、むつ市とおいらせ町の未婚率（f2）と、独身者の恋愛行動（f4）、結婚観（f3、q12f・g）、人間関係満足度（q12b・c・d）について、検討してきた。条件不利地域圏であるむつ市と地方中枢拠点都市圏であるおいらせ町では、婚姻状況（表 2）、恋愛行動（表 7）、結婚観 1（表 10）、結婚観 2・家族形成に関する将来展望（表 13）、人間関係満足度（表 14）に関する明らかな違いはみられなかった。

ただし、むつ市の恋愛行動では、移動歴との関連があり、ずっと地元に住んでいる層の半数以上が恋愛交際未経験となっていた。おいらせ町ではこのような関連はみられなかった。また、結婚観 1 では、むつ市とおいらせ町ともに、現在恋人と交際中の者ほど「ある程度の年齢までに結婚するつもり」と回答する割合が高くなっていたが、むつ市では、この結婚観でも移動歴との関連がみられた。むつ市の I ターン層の半数以上が「ある程度の年齢までに結婚するつもり」と回答しているのに対し、ずっと地元の層では約 4 割ほどである。さらに、ずっと地元の層では「一生結婚するつもりがない」の肯定回答率が 2 割となっていた。おいらせ町では、やはり移動歴との関連は確認されなかった。他方で、婚姻状況においては、むつ市だけでなくおいらせ町でも、移動歴との関連があり、両地域ともにずっと地元層の未婚率が最も高く、次に U ターン層、そして I ターン層の順となっている。移動歴別のネットワークや移動経験者の前住地や職業など、より詳細な分析が必要となるだろう。また、本章では、むつ市とおいらせ町の比較を優先したため、恋愛行動や婚姻状況に関して性別ごとの分析を十分に行うことができていない。3 節で確認した国勢調査データとのずれに留意しながら今後の課題としたい。

文献

- 木村絵里子, 2016, 「『情熱』から『関係性』を重視する恋愛へ——1992年、2002年、2012年調査の比較から」藤村正之・浅野智彦・羽瀧一代編『現代若者の幸福——不安感社会を生きる』恒星社厚生閣: 119-150.
- 国立社会保障・人口問題研究所, 2018, 「人口統計資料集 (2018年版)」.
- 工藤 豪, 2011, 「結婚動向の地域性——未婚化・晩婚化からの接近」『人口問題研究』67-4: 3-21.
- 轡田竜蔵, 2015, 『公益財団法人マツダ財団委託研究「広島 20-30 代住民意識調査」報告書 (統計分析篇)』公益財団法人マツダ財団.
- , 2017, 『地方暮らしの幸福と若者』勁草書房.
- 南 拓磨, 2017, 「都道府県別未婚率の地域差——未婚率の地域差はなぜ縮小したのか」『経済学研究論集』46: 65-81.
- 総務省統計局, 2017, 「平成 27 年国勢調査 世帯構造等基本集計 02 青森県」.